



始



林務

內務省山林局編纂

山林叢書 第十五卷 山林監守人ノ本務

明治十二年七月

山林叢書第十五卷

山林監守第三篇 拔抄

和田順吉譯



森林監守人ノ本務

定限ノ區域内ノ土地ヲ保護ス可キ任ヲ受タル者ヲ云
 其所管ノ森林内ニ違犯ノ者ナカラシムル爲メ間斷ナ
 要トス是ヲ以テ余輩此篇ニハ「ボードリアール」「ハルチ
 効ヒ森林監守人ノ善良ナル性質ヲ擧ケテ之ヲ職認セ
 シモノトシテ夫レ監守人ハ身體強健耳目銳敏ニシテ勉メテ倦マズ品行
 方正ニシテ信義正實ヲ旨トシ從順温和ナルヲ要ス是レ其職務執行ノ
 際其欠ク可テサルヲ以テナリ是ノ如キ性質ハ森林監察ノ爲メニ要ス
 一ルノミニニアラス人生ノ最モ貴重スル所ナリ監守人ハ記憶ト深遠ノ謀



二 慮アリテ文書ニ通シ罪犯ノ調書ヲ明記シ數學ノ大旨ト代數學ノ初歩
トナ學ヒ且施政ノ概畧方法ト森林學ト森林ニ關スル理財ノ法トヲ識
得スル者ニテ之ヲ概言スレハ森林ニ係ル違犯ニ付キ扱フ可キ諸件ヲ
明知スルヲ緊要トス「森林監守人ノ本務ヲ説クニ當リ先ツ監守人ナシ
テ認得セシムヘキコトアリ此事ハ法律ニ掲載セザル事務ニシテ其職務
執行ノ際場合ノ止ムヲ得サルニ循ヒ處分スヘキ事ナリ如何トナレハ
其監守スヘキ森林ヲ保護スルノ方法則チ損害ヲ預防スヘキ方法ハ害
ヲ加ントスル者ノ其加害ノ景情ニ循ヒ施行セサル可ラサルカ故ナリ
森林ノ所得ヲ保全スルハ至難ノ業トス森林ハ常ニ違犯ヲ生スヘキ物
件中ノ一ニシテ其損害ヲ預防スルハ唯監察ヲ嚴ニ施行スルノ一途ア
ルノミ故ニ伐木ノ時ト冬季烈寒ノ際ト菓物成熟ノ時トハ殊ニ注意視
察シテ犯罪ヲ預防シ又割斷具ヲ以テ樹木ヲ不具ナラシムル等ノ害ヲ

防ク事緊要ナルベシ

第一 森林監守人ハ其職務上ノ失策并ニ贈與ヲ受ル等ノコトアレハ
相當ノ處罰ヲ受クベキニ因リ犯人又ハ商人ヨリ金銀財料或ハ贈物
等ヲ受納シ又ハ強奪者樹木ノ類ニ論ナクト飲食ヲ共ニシ又ハ罪犯
ノ如何ヲ問ハス犯事ニ就キ強奪者ノ書記セル書類又ハ申立書ヲ引
裂キ又ハ廢棄セシ等ノ事跡分明ナレハ當然處罰セラル可シ

第二 監守人ハ材料ノ商業如何ヲ問ハス之ヲ爲ス可ラヌ其家ニ積
材場ヲ設ケ材料ヲ積ミ置ク可ラヌ伐木ノ入札人ト爲ル可ラヌ又商
人ノ組合等ニ加入ス可ラヌ飲料ヲ販賣スル場所ヲ建設ス可ラヌ材
料ノ如何ヲ問ハス之ヲ使用スル工業場ニ材料ヲ販賣シ又ハ送付ス
可カラス樹木ヲ伐斫シ又ハ拔取ル可キ免許ヲ與フルノ權アル可カ
ラス亦小弱ノ樹木ト雖モ之ヲ伐リ又ハ拔取ル可キ免許ヲ與フルノ

四

權アル可ラス親屬姻屬ト雖ヒ商人ノ保證人ト爲ル可カラス又其親屬姻屬ヲシテ森林ヲ小作セシメ又ハ森林ヲ評價セシム可カラス

第三 路傍ニアルト他ノ場所ニアルトノ論ナク總テ隨意ニ樹木ヲ所置ス可カラス材料商人ヲ待遇シ木履製造所燒炭場及ヒ其他ノ場所ヨリ手數金等ヲ受クルヲ嚴禁タル可シ

監守人ハ其監守スル森林内ニ諸犯罪アル時又ハ獸類ノ森林ヲ害シタル時又ハ其他ノ損害ヲ生スル時其旨ヲ公報セサレハ其責免カル可ラサルニ因リ其職務ノ性質ノ細目ト其負擔スル義務トヲ左ニ細論ス

第一

森林監守人ハ管轄區域内ノ森林ニ毎日巡行シ其巡行スルニ當テ或ハ通行ノ道ヲ變シ又ハ其歩ヲ緩急シテ其巡行中見聞セシ諸事ヲ見認ムヘシ必ス人跡アル道ヲ行ク可ラスト雖共林樹ノ蒐集シタル中ヲ過ク可ラス何トナレハ違犯ノ景狀ヲ見認ムルヲ多分人跡ナキ場所ニアルカ故ナリ

第二

森林監守人ハ少クモ一週日内ニ一回其管轄區ノ境界タル山林ヲ巡行監察シ又森林分界周圍ノ溝渠ヲ視察シ森林ノ側旁ナル土地ノ所有主此分界溝渠ノ景情ヲ變シタル時ハ其變更セシ模様ヲ調書ニ記載スヘシ

第三

森林監守人ハ森林賣拂ノ時ニ臨ミ視察シテ其森林内ノ雜草ヲ伐リ取ルヲ防キ且ツ賣拂ヲ受ケテ伐斫セシ森林内ニ於テハ殊ニ雜草ヲ刈取スルヲ禁スヘシ何トナレハ伐木又ハ打チ例シタル森林内ニハ之ヲ増殖スヘキ基礎タル嫩木ノ數多アルカ故ナリ

第四

森林監守人ハ嫩木ノ成立スル地方ニ殊ニ數回巡視シテ獸類ノ害ヲ防キ且ツ犯人ノ器具ヲ製シ又ハ杖ヲ製スル爲メ嫩木ヲ折傷ス

五

六

ル者等ヲ制止スヘシ

第五 夜間竊カニ獸類ヲ牽キ來テ牧養セシ者ヲ見認ムルト各種犯人ノ脚跡ヲ証明ニスルトノ目途ヲ以テ早天ヨリ巡視スルヲ緊要タル可シ

第六 森林監守人ハ森林側傍ノ所有主林木ヲ所得ト爲スノ權アル者及ヒ獸類ヲ牧スル者等樹皮ヲ剝キ又タハ伐木ノ爲メニ經過スル間道ニ入りテ樹木ヲ拔キ去リ又ハ其他ノ害ヲ制止ス可シ

第七 森林監守人ハ官許狀ヲ得シテ山林内ノ土砂糞土等ヲ他所ニ搬運スル者ヲ制止ス可シ

第八 森林監守人ハ石炭坑ヲ監察シ預メ定メタル場所ノ外之ヲ掘ルヲ許サス樹木培養ノ損害トナラサル爲メ樹木ヲ栽植セサル地ヲ撰ミ又木履製造所ヲ建設スルニモ亦同一タル可シ且製造者違犯ニ因

テ材料ヲ得テ之ヲ使用スルヤ如何ヲ証スル爲メ其製造所内ニ入りテ視察スヘシ

第九 森林監守人ハ掘炭工人ヲ視察シテ其馬ヲ抗ニ繫カシメ又其買得タル部分ニテ飼草ヲ刈取シ獸類ヲ牧スル等ノ事ナカラシムル爲メ監察シテ之ヲ制止スヘシ

第十 森林監守人ハ他人ノ森林ノ樹類ヲ所得ト爲スノ權ヲ有スル者ヲ監察ス可シ是其地ノ住民商人又ハ林木所得ノ權ヲ有セサル者又ハ此權ヲ賣買スル者等ニ此權アルモノヨリ其姓名ト其住所トヲ貸シ與フルノ惡弊ヲ預防スルカ爲メナリ

第十一 森林監守人ハ巡行ノ時森林内ニ於テ牧人又ハ其他點火スル者アレハ其口實ノ如何ヲ問ハス之ヲ制止ス可シ

七

第十二 森林監守人ハ嫩木ヲ拔キ去ル者、果物ヲ摘取スル者伐木シタ

ル部分ニ獸類ヲ牽キ入ル、者等アレハ之ヲ制止シ又牝山羊、綿羊ハ其年齢ノ如何ヲ問ハス又時ノ如何ニ論ナク森内空間ノ地及ヒ荒地ト雖モ之ヲ牽キ入ル、事ヲ許サ、ルニ因リ注意シテ之ヲ制止スベシ

第十三 森林監守人ハ其巡視ノ時倒レタル樹木ヲ見タル時ハ之ニ鑿記テ打チ且其目錄ヲ制シテ其地方ノ森林官署ノ吏員ニ出スヘシ

第十四 森林監守人ハ伐木シタル後チ其場所ノ掃除ノ際車夫馭者等更ニ森林内ニ道ヲ開キ運車スルヲ制止スベシ是レ樹根ヲ折傷スル等ノ恐レナカラシムル爲メナリ

第十五 森林監守人ハ枯朽シタル樹根ノ高キモノアレハ伐木ノ間ニ之ヲ伐ラシムベシ

第十六 森林監守人ハ毎日巡視シテ預備ノ森林ヲ監察シ樵夫ノ之ヲ伐ルヲ制止スヘシ

第十七 森林ノ落札人ヨリ伐木ノ免許ヲ工人ニ與フルノ前工人伐木セントスル時ハ森林監守人ノ之ヲ制止シ又工人其工業簿冊ニ伐木スルノ旨ヲ記載スルノ前森林ヲ伐斫セントスル時モ亦森林監守人ノ之ヲ制止スヘシ

第十八 森林監守人ハ其管轄区域内ニテ伐木ノ時毎日其場所ヲ巡視シ伐木ノ方法ヲ熟視シ若シ其方法ノアシキ時ハ落札人ヨリ任テ受ケテ伐木ノ事務ヲ扱フ者ニ其旨ヲ報知シテ工業ヲ停止スヘシ(第二)編字類中「エキスプロアタシヤン」森林培養伐木等ノ諸ノ語ノ註釋中ニ伐木ノ良法ヲ記載ス

第十九 森林監守人ハ小舎製造所等ノ外ニテ點火スルヲ制禁シ若シ工夫此規則ニ違反セシ時ハ監守人其違反ノ所爲ヲ調書ニ記シ落札人ヲシテ其責ニ任セシムヘシ

十 第二十二 森林監守人ハ伐木ノ間巡行シテ保存ス可キ樹木ト預備ノ樹

木トテ檢視ス可シ

第二十一 伐木ノ終ル可キ時ヲ預定シテ之ヲ糶賣規則書ニ掲クルカ故ニ落札人延期ノ許可ヲ得サルニ若シ工夫此時ヲ過テ尙ホ伐木スル時ハ監守人之ヲ停止ス可シ若シ工人此規則ニ違犯スル時ハ監守人其樹ノ取押ヲ成シテ之ヲ公告シ且ツ其旨ヲ調書ニ記ス可シ

第二十二 森林監守人ハ重大ノ違反ヲ見認ムル時直チニ地方ノ吏員ニ之ヲ報知シ而シテ吏員ハ速ニ監守人ト協議シテ其犯人ヲ探索ス可シ

第二十三 火災又ハ不慮ノ災害發生シ非常急迫ノ場合ニ於テハ其地ノ森林監守人ハ速ニ其場所ニ到リ且ツ其地方ノ吏員ニ急報シ吏員ノ到着ヲ待ツノ間其景況ニ循テ處分ス可シ火災ノ時ハ延焼ヲ止ム

ル爲メ至急防焼ノ方法ヲ行ヒ延焼甚ダレカラサル時ハ樹皮ヲ束テ又ハ樹枝ヲ以テ防焼ヲ爲ス可シ

若シ火勢熾ニシテ此方法ヲ以テ延焼ヲ止ムル能ハサル時ハ監守人ノ處分ス可キ要件左ノ如シ

第一 監守人ハ機ニ臨ミ諸法方ヲ以テ近接ノ地ニ火災ヲ報知シ其住民ヲシテ伐木具及ヒ土工ノ具ヲ携帯セシメ火災ニ罹ラントスル場合ニ招集シ樹木ヲ伐ラシメ又ハ飼草ヲ除去セシメ火ノ後部ニハ飼草ヲ掘リテ延焼ノ道ヲ絶チ若シ景況止ムヲ得サル時ハ火ノ前面ニ在ル間隔ヲ措キ溝渠ヲ作ルヘシ

第二 水路アル地方ナレハ唧筒ヲ用ヰテ防焼スヘシ

第三 灌木ノ生茂セル地又ハ乾草ノ地ニ火災發シタル時ハ土ヲ掘リテ火中ニ投シ又ハ延焼ス可キ地ニ土ヲ投シテ灌木又ハ雜草

ナ蓋ヒ火勢ヲ止メ亦ハ溝渠ヲ作りテ延焼ノ道ヲ絶ツヘシ
 火災鎮消ノ後ハ監守人ハ其場所ノ周圍ヲ巡視シ之ヲ監察スヘシ且燒
 失ヒシ草木ノ價直ト火災ニ罹リタル地ノ面部ト火災ノ原由又ハ原由
 確實ナラサルハ其思度スル所ノ原由トテ調書ニ記ス可シ
 森林監守人ノ本務ノ大概ト其監察制止スヘキ諸件トハ前文既ニ記載
 シテ之ヲ示スト雖モ尙得載スヘキ要件アリ山林ノ樹木ハ竊取ニ罹リ
 折傷ヲ受ケ又ハ其他ノ害ノ多キニ因リ之ヲ見認メ之ヲ防クノ方法ヲ
 監守人ニ知ラシムルハ緊要ニシテ欠ク可ラサル所ナリ森林ノ害ハ
 第一、人爲ノ害第二、禽獸ノ害第三、昆蟲ノ害トス
 人爲ノ害ハ必ス森林ニ直チニ害ヲ加フルモノニテ其地ヲ害シ併セテ
 其生産ヲ害スルニ至ル第一森林ノ境界タル標柱溝渠柵及ヒ伐木境界
 ノ樹木等ヲ動カシ又ハ之ヲ廢棄スルノ害第二許可ヲ得スシテ森林ノ

生産物ヲ獲取シ糞土雜草木苔木葉木刺灌木野蕎麥等ヲ持去ルノ害第
 三、樺樹ノ小枝薪料櫛實栗果等ヲ詐テ持去ルノ害等是ナリ
 家畜ニ因テ生スル害ハ監察ヲ嚴ニシテ之レヲ預防スルヲ得ヘク且森
 林ニ關スル法律ノ實施ニ因テ土地ヲ保護シ害ヲ預防スルノ助ケトナ
 レリ
 野ニ生スル動物モ又森林ニ害アリ乳獸ノ類鳥類及ヒ數多ノ昆蟲是ナ
 リ
 第一森林ヲ害スル獸類左ノ如シ
 第一鹿第二小鹿第三「シユウルイエ」鹿ノ一種第四、野豬第五、兎第六野鼠土龍
 「シユルミロー」鼠ノ一種第七、栗鼠
 此獸類ハ森林ヲ害スルヲ甚シ或ハ初芽、枝葉及ヒ樹皮ヲ食スルモノ
 アリ或ハ地ヲ掘キ種子ヲ食スルモノアリ或ハ嫩木ノ根ヲ食スルモノ

ノアリ

第二森林ヲ害スル鳥類左ノ如シ

松鷄、樹鷄、野鳩、雉、鵝、鴨子等ナリ

此等ノ鳥類ハ総テ撒布シタル種子ヲ尋テ之ヲ食シ花包ヲ啄キ少弱ノ幹ヲ害スルモノナリ

第三ハ昆虫ニシテ亦無限ノ害ヲ生スルコトアリ是其蔓延殊ニ甚シク或ハ生樹ヲ蠹蝕シ又ハ伐タル樹木ヲ蠹蝕シ或ハ果物ヲ食シ又木葉ノ液ヲ吸収シ木葉ヲ食フ此昆虫ノ中ニテ甲蟲ノ類ト半翼蟲ノ類ト四翼蟲ノ類トハ各別個ニ生シ鱗翼中ノ類ハ最初螟蛉ノ狀ヲ爲ス時集合シテ森林ヲ害ス若シ急ニ之ヲ除去セサル時ハ其害甚ク大ナリ
森林ヲ害ス可キ數多ノ植物アリ其繁殖大ナル時ハ彌ヨ其害甚シ(第二編)ルプウブルマン^{スル}ノ法^ノ樹木ヲ繁殖ノ註釋中森林有害ノ樹木ヲ參考スヘ

シ)

人ノ所爲ニ因テ生シタル損害

伐木ノ際ニ生スル惡弊ト各種樹木ノ竊取トヲ防ク爲メ森林監守人ハ其巡視ヲ嚴ニシ森林警察規則ヲ能ク遵守シテ適宜ニ之ヲ施行スルヲ要ス且監守人ハ伐木落札人ノ違犯ニ付キ責ニ任シ伐木境界ヨリ二百五十「メートル」ノ距離内ニ違犯アル時ハ其責ヲ免ル可カラス

森林ニ害ヲ加フル禽獸

家畜

森林監守人ハ家畜ノ害ニ付テモ亦其所有主ノ違反タルヲ証シ之ヲ調書ニ記スル爲メ數回巡行スルヲ要ス巡行數回ナレハ必ス其害ヲ預防ス可シ既ニ害ノ生シタル後ヲ罰ヲ加フルヨリ未前ニ之ヲ預防スルヲ緊要ナルカ故ナリ

野獸ノ害ヲ預防スルニハ境界ヲ設ケテ遠隔ノ地方ニ之ヲ避ルヲ要ス
此境界ヲ設クルニハ繩ヲ張り之ニ光澤アル古布ヲ結ヒテ繞圍ヲ爲シ
果生木及ヒ嫩木ヲ防護ス可シ然レ共兎ノ類ノ如キハ之ヲ獲取シテ害
ヲ絶ツヲ要ス

若シ栗鼠ノ非常ニ増殖シタル時ハ勉メテ之ヲ狩リ其得タル栗鼠ヲ以
テ餌トナシ之ヲ狩ルヘシ
野鼠又ハ其他ノ鼠類ノ害ヲ預防スルニ數多ノ方法アリ第一狐、狸、貓、鼠
狼等ノ如キ鼠類ヲ食フヘキ性質ノ獸類ヲ繁殖シ獵犬ヲ増殖スルニア
リ又鳥類ニテ鼠類ノ數多ヲ殺シ之ヲ食フモノアリ第二鼠害ヲ受クヘ
キ森林内ニハ豕ヲ牽キ入ル、チ良トス此獸ハ野鼠及ヒ其他ノ鼠類ヲ
尋テ其巢窟ニ至ルマテ之ヲ求メテ食フモノナリ

鳥類ノ森林ヲ害スルモノハ其數ノ非常ニ増殖スルニ非サレハ憂フル
コ足ラスト雖モ其増殖スルニ至レハ樹木ノ種子ヲ求メテ之ヲ食ヒ殊
ニ播種ノ際ニ此害多クシテ許多ノ損失ヲ生ス可シ時トシテ嫩芽ヲ喰
ヒ又ハ嫩木ノ幹ヲ食ヒ生活スル鳥類アリ
此損害ヲ預防スルノ方法ハ境界ヲ定メテ其境外ニ増殖スルヲ防キ且
森林内此害ノ最モ甚シキ場所ヲ預防シ又勉メテ此害ヲ預防スルニ便
ナル地方ヲ保護シ他ノ場所ニ移ス可シ

昆虫モ又森林ニ甚ク害アリ若シ其繁殖ヲ防カサレハ非常ニ蔓延スル
カ故ニ森林監守人ハ勉勵監察シ適宜ノ方法ヲ以テ其害ヲ預防ス可シ
昆虫ノ害ハ全一ナラス或ハ幹枝ヲ喰ヒ葉果ヲ喰フ故ニ急ニ其蔓延ヲ

防キ其根原ヲ絶タサレハ無限ノ損害トナルヘシ

甲蟲ノ類

第一「ハノストン」此蟲ハ四月五月ノ間ニ生シ檜樹、山毛櫸、榆樹等ノ葉花ヲ喰ヒ其孵生シタル時ハ白蟲ト名ツケ或ハ「マン」、「チユルク」ト稱ス此昆蟲ハ樹根ヲ喰ヒ遂ニ枯落セシムルニ至ル此害ヲ除クニハ朝樹木ヲ搖動シ其落下シタル時之ヲ殺シ又ハ之ヲ燒盡ス可シ其蔓延甚シキ時ハ小許ノ給料ヲ出シテ婦人小兒又ハ人夫ヲ招集シテ蟲ヲ殺サシメ此中ノ最モ精勵ナル者ニハ少シク褒賞ヲ附與シテ之ヲ奮勵セシメハ此大數ヲ拂フニ至ルヘシ又蟲ノ孵生シタル時ハ地ニ匍行スルニ因リ飼養スル鳥類ヲ森林ニ放チ又ハ豕ヲ森林内ニ引入レテ蟲類ヲ喰ハシムヘシ

第二「ハノストンフーロン」昆蟲此蟲ハ海濱及ヒ沿海ノ砂地ニ生スル

ト多シ七月ヲ以テ發生シ菩提樹、白楊、樅樹ノ葉ヲ喰ヒ是ヲ害スル事甚シトス之ヲ除クニハ前文ノ方法ヲ以テス可シ

第三「ポストリジニ、テイボクラーフ」昆蟲此蟲ハ長サ五「ミリメートル」

アリ其色褐ニシテ羽アリ甲ヲ爲ス數條ノ線アリ其端ハ齒ノ如キ形狀ナリ四月ヨリ十月ニ至ルマテハ孵生ノ狀アリテ各種ノ樹木ヲ害シ殊ニ松杉ノ類ヲ害スルト甚シ木皮ノ間ヲ喰ヒ無數ノ空隙ヲ爲シ養樹液ノ循環ヲ妨害ス此昆蟲ハ好テ病木又ハ衰疲顛倒セル樹木ニ附着シ又時トシテ健強ノ樹木ト雖モ害ヲ受ケ數年間ニ其全部枯落スルニ至ルトアルヘシ

「テイボクラーフ」ノ害ヲ避ケンニハ季候ノ如何ヲ問ハス速ニ病木又ハ衰疲顛倒スル樹木ヲ除去シ又之ヲ除去セスト雖モ其皮ヲ剝キ去ルヘシ此害ニ罹リタル樹木ハ枝端乾キテ黃色ヲ現出スルヲ以テ知ル可シ

然ル時ハ直チニ之ヲ伐斫シ斷株ヲ壞棄スルヲ要ス
此害ヲ防ク爲メ樹皮ヲ剝キタル部分ニ石灰水ヲ塗リテ其朽敗ヲ止ム
ルコトアリ

此昆蟲ヲ喰フヘキ鳥獸ヲ増殖スルハ緊要ナリ此鳥獸ハ野鼠啄木鳥啄
蜂鳥及ヒ燕雀ノ類ナリ

第四「ポストロリーシユ、チユ、パン、シルシウエストル」野松ヲ害スル昆蟲ハ
長サ十「ミリメートル」乃至十二「ミリメートル」アリ其色褐ニシテ甲ア
リ其腹部ハ赤シ前文ノ昆蟲ノ如ク野松ノ健強ナルト枯落セルトナ問
ハ害ヲ加ヘ殊ニ老木ニ甚シ

此害ヲ防クニモ亦前文ニ掲ケタル方法ヲ行フコト緊要ナル可シ
第五「スコリート、ビニメルド」昆蟲ハ其長サ四「ミリメートル」ニテ其
色黒ク細毛アリ甲ニ凸凹アリテ鬚ヲ具シ其足赤色ナリ四十年ヨリヒ

十年ヲ經タル老木ノ脂質アルモノ、皮ニ附着シテ其害甚シ又野松ノ
嫩芽ヲ喰ヒ柔軟ナル葉ヲ擇ヒ其喰抜キタル穴ニ卵ヲ遺シ直チニ孵生
シ若芽ヲ喰ヒ之ヲ枯落セシムルニ至ル可シ

此害ヲ預防スルニハ前文ニ掲ケタル「テイポクラーフ」ノ預防ト同一ノ
方法ヲ行フヘシ

第六「スコリート、デストリユクトユル」昆蟲ハ其色黒ク光輝アリ斑点
ト鬚トヲ具シ甲アリ其足黒シ此昆蟲ハ楡樹ヲ害スルコト甚ク殊ニ
生長シタルモノニ害多シトス

第七「ポストロリーシユ、メレーズ」昆蟲ハ其長サ三「ミリメートル」ニテ其
色黒ク其甲ハ齒ノ形狀ヲ爲シ杉樹ノ皮間ニ生ス

第八「ポストロリーシユ、デ、サ、ハン」松樹ヲ害スル昆蟲此蟲ハ長サ三「ミリメートル」
ニシテ其色黒ク其形ハ切斷狀ヲ爲シ全身甲アリ樹木ノ齡如何ヲ問ハ

ス殊ニ松杉ノ皮間ニ生ス

此害ヲ預防スルノ方法モ又前文ト同一ナルベシ

第九 斑猫、此蟲ハ長サ十五「ミリメートル」ニテ光輝ヲ帯ヒ其色青ク

鬚黒シ此昆蟲ハ殊ニ秦皮樹ノ花ヲ害ス此害ニ罹リタル時ハ樹木ヲ搖

動シ其落下スルヲ以テ之ヲ拾集シ之ヲ酸ニ浸シ而シテ藥舗ニ販賣ス

ベシ

第十 我佛國ノ森林ヲ害スル殺虫ノ類數多アリ第一ハ「ラン、シュー、ス、

デ、ボン」松樹ヲ害スニテ其色黒ク長サ七「ミリメートル」アリ羽ニ筋ト

斑点トアリテ其狀恰モ「スコリート、ヒニペルド」ノ如シ其孵生シタルモ

ノハ野松及ヒ松樹ノ柔軟ナル枝ニ附着シ嫩芽ヲ枯落セシム此害ヲ預

防スルニハ其附着スル樹木ヲ搖動シ樹下ニ麻布ヲ敷キ之ヲ集メ之ヲ

殺スヘシ第二ハ「ラン、シュー、ス、ド、ロー、ス」赤楊ノ類ヲ害スニテ楊柳、樺樹ノ

葉ヲ喰フ第三ハ「ラン、シュー、ス、デ、ニ、ソール」水楊ヲ害スニテ櫟樹、水楊ノ

葉ニ害ヲ加フルモノナリ

第十一 「クリグメール」昆蟲ノ類ニテ森林ヲ害スルモノ數種アリ第一

ハ「クリグメール、デ、ニ、アウ、アリエー」白楊ヲ害スニテ其長サ十三「ミリメー

トル」アリ其狀楕圓ニシテ其色青ク其羽赤クシテ黒斑アリ羽形直角ナ

リ此昆蟲ノ孵生シタル時ハ群集シテ白楊、水楊等ノ葉ヲ喰フ第二

ハ「クリグメール」ウイ、チ、レ、ット之モ亦楊柳ノ葉ヲ害ス第三ハ「グリ

ウリー、ソイ、ユウ」名蟲ニテ此蟲モ亦前文ト同一ノ樹木ヲ害ス第四ハ「グリ

プウリー、デ、ニ、ク、ウ、ドリ、エー」ニテ此蟲モ亦前文ト全種ノ樹木ノ嫩芽ヲ

害ス第五「グレリ、ユツク、ド、ロルム」榆樹ヲ害スハ六「ミリメートル」ノ長サ

ニテ黄色ナルアリ又ハ青色ナルアリ頭部ニ三個ノ黒斑ト甲ニ同色ノ

一線アリ此昆蟲繁殖スルハ榆樹ノ柔軟ナル葉ヲ喰ヒ遂ニ枯落セシ

ムルニ至ルベシ
右ノ如キ有害ノ昆蟲ハ總テ手ニテ之ヲ除去スヘシ手ノ之レニ觸レル
キハ必ス落花シ又ハ免メトシテ死スルモノアリ

二甲蟲

此昆蟲ノ類ニテ嫩木ノ根ヲ截リ養樹園ヲ荒ラシ其害ノ甚タシキモノ
アリ「クウルチリエール」昆蟲ノ名此害ヲ預防スル爲メ狹隘ノ溝ヲ掘リ
テ肥料ヲ滿タス時ハ昆蟲過半ハ茲ニ集リ其後肥料ヲ散シテ之ヲ滅盡
スヘシ

半甲蟲

森林ノ大木ヲ害スル「エミブテール」ハ多ク「アフィヂアン」昆蟲又ハ「ビユ
スロン」昆蟲ノ類ニ属ス此昆蟲ハ第一「アシューユ、ヂユ、シエーヌ」椴樹ニ附着第二
「アシューユ、ド、ローヌ」チーヌ、樹ニ附着スル昆蟲第三「アシューユ、ヂユ、ビユイー」黄楊ニ附着
第四「アシューユ、ヂユ、サパン」松樹ニ附着ニテ其繁殖スルキハ松杉ノ嫩芽

ヲ喰ヒ其害甚タシ第五「ビユース、ロン、ヂユ、シエーヌ」椴樹ニ附着ニテ其
色褐ナリ口部ハ体ヨリ長キヲ三倍ナリ第六「アシューユ、ヂユ、ヘートル」山
櫟ニ附着ニシテ此蟲ハ白色ノ綿毛ニテ全身ヲ蓋ヘリ第七「アシューユ、ド、
ロルム」榆樹ニ附着第八「アシューユ、ヂユ、シユロー」桐樹ニ附着第九「アシューユ、
ヂユ、トランプル」白楊ニ附着第十「アシューユ、チレウル」菩提樹ニ附着等ナリ
此等ノ昆蟲ハ總テ養樹液ヲ以テ生育シ枝葉幹根ニ附着ス又ハ幹ト葉
トノ内部ニアリテ増殖甚タ速カニシテ其害甚タ大ナリ斯ノ如キ數害
相合シテ幸ニ其害ノ原由ヲ滅スルモノアリ第一鳥類來テ多量ノ昆蟲
ヲ喰ヒ第二雨降り露滴リテ昆蟲ヲ殺シ第三一種ノ昆蟲ノ他ノ昆蟲ヲ
喰ヒ其増殖ヲ妨害スルアリ

四甲蟲

數多ノ四甲蟲ノ中ニテ森林ニ害ヲナスヲ甚シキモノハ二三ノ蠅コシ
テ其針ヲ以テ枝葉ニ穿テ卵ヲ生ス其孵生スルキハ其各個ナルト其集
合スルトチ問ハス樹木ニ害アリ殊ニ害ノ甚シキ者ハ「ダントレード、ヂ
パン」松杉ニ附着ニシテ其色黒ク十二「ミリメートル」乃至十五「ミリメ
ートル」アリ胸部ニ細毛ヲ具フ此昆蟲ハ松杉ノ森林ニ甚タ害アリ其繁
殖モ亦甚タ速カナリ

鱗甲蟲

「レビドプテール」或ハ蝶ノ類ハ森林ヲ害スルノ最モ甚シキモノナリ第
一ハ其繁殖甚シキニアリ第二ハ其生長ノ速ガナルニアリ第三ハ孵生
シタルヤ直チニ其喰スルヲ多量ナルニアリ此蟲ノ孵生シタル時ノ形

狀ハ世人ノ知ル所ノ螟蛉ト一般ナリ樹葉及ヒ嫩芽ヲ喰ヒテ生育ス又
樹木ノ花果根皮ヲ喰フモノアリ此昆蟲ノ中ニ各分離シテ生スルモノ
ト集合シテ生スルモノトアリ此害ノ最モ甚シキモノハ「ファレーヌ」
夜間出テ樹木及ヒ「コッシユ、ロンヂユ、ボアー」トス「コッシユ、ロンヂユ、ボ
アー」ハ其長サ大概三十五「ミリメートル」アリ其色鼠色ニシテ上部ノ數
羽ニ黒線アリ春氣ヲ以テ生スル所ノ螟蛉ハ其形大ニシテ其色ハ赤ク
斜メニ赤線アリ白楊水楊ノ林中ニアリト雖ドモ殊ニ榆樹ノ森林ニ夥
多ナリトス

「ボンピス」ニ數種アリ第一其中ニ數多集合シテ樹木ニ害ヲ加フルモ
ノヲ示スヘシ此蟲ハ鼠色ニシテ其羽毛モ亦同色ナリ其羽毛ノ上部ニ
黒キ二線アリ第三ノ羽毛ハ其中部黒色ナリ此螟蛉ハ其色鼠色ニシテ
体ニ細毛アリ其脊部ハ黒色ニテ黃色ノ數凸アリ檜樹ニ集合ス第二「ボ

ンビス、グラン、パオン」ハ我佛國ニ生スル蝶類ニテ其羽ヲ開ケハ其幅十
三「サソテイメートトル」アリ其体モ其羽モ等シク茶褐色ニシテ各羽ニ班
点アリ又其螟蛉モ青色ニテ体ニ數多ノ凸出セル物アリ各種樹木ノ葉
ヲ喰ヒ生育ス第三「ボンビスヂ、パン」松杉樹ヲ害スルハ松杉ノ類ノ刺葉
ヲ喰フ

「アルパントユス」同行ノ非常ニ速カナル蟲類ノ名ヲ以テ一般知ル所ノ螟蛉中本種ノ

「ファレーヌ」テ生シ害ノ甚シキモノハ第一林樹ヲ害スル「ファレーヌ」ニ
シテ其羽ニ茶褐色ノ二線アリ其体モ褐色ナリ第二ハ樟樹ヲ害スル「ファ
レーヌ」コテ此樹ノ葉ヲ喰フ第三ハ松樹ヲ害スル「ファレーヌ」ニシテ松
樹ノ刺葉ヲ以テ其喰用トス

「ノクチュエル」夜間樹木ヲ害スル昆蟲ノ中我佛國ニ生シテ樹木ニ害ヲ加フル者ハ
第一秦皮樹白樟樹ヲ喰ヒ生活スル昆蟲第二樟樹ニ巢ヲ作り其樹ニ依

テ生活スル昆蟲第三「イブウ」昆蟲第四松杉ヲ害スル昆蟲等ナリ松杉ヲ害
スル昆蟲ト「イブウ」トハ第五月ノ頃ニ至テ野松ノ森林ヲ害スルコト殊ニ
甚シ

「ピラル、ウエルド、ア、パント」ハ前文ニ掲クル數種類ノ最モ大ヒナルモノ
ニテ其上部ノ羽ハ青色ニシテ柔軟ナリ白色ノ二線アリ此蟲類ノ害ハ
「アフヌ」樹名及ヒ檜樹ニ甚シ

前文ニ列記スル昆蟲ノ外黄昏ノ頃ニ出テ、樹木ヲ害スル蝶類ノ數種
アリ中ニ就テ爰ニ記載ス可キハ松螺ナリ此蟲ハ七月ヲ以テ生シ我カ
佛國ノ北部ニテ重モニ蘇格蘭種ノ松樹ヲ害ス

此昆蟲ノ數多ハ樹木ニ害ヲ加ヘ老木嫩木ノ別ナク枯落セシム此昆蟲
ハ先ツ樹木ヲ衰疲セシメ其生長ヲ害ス可キヲ以テ成ル可ク速カニ之
ヲ除去スルヲ要ス可シ之ヲ除去センニハ勉メテ森林ヲ害セサルノ方

法ヲ以テス可シ毎歲春氣ヲ以テ殊ニ之ヲ觀察シ又暑氣ノ後ハ殊ニ其
 増殖スル甚シキヲ以テ之ヲ觀察スルヲ緊要ナル可シ風雨ノ爲メニ樹
 木ノ倒レタルキハ直チニ森林外ニ之ヲ搬運シテ木皮ヲ剝キ昆蟲ノ害
 ヲ受ケタル部分ヲ伐リ去ルヲ要ス春秋ノ兩氣ニ於テハ森林内ニ豕ヲ
 牽入レ之ヲ喰ハシメ又ハ蛹ノ多量松樹ノ落葉内ニ潛藏スル時ハ落葉
 ヲ取除テ之ヲ燒キ柴草ヲ刈リ其卵ヲ盡シ再生セサラシムル爲メ樹下
 ノ地ヲ耕鋤ス可シ若昆蟲ノ増殖非常ナレハ此方法ヲ以テ足レリトセ
 ス小許ノ給料ヲ出シテ其地側法ノ住民ヲ集メ此卵ト生長シタルトテ
 問ハス總テ之ヲ滅盡セシメ又此昆蟲ヲ探尋セシメ其多量ヲ殺シタル
 モノニハ褒賞ヲ附與スルヲ良法トス
 大氣ノ變動ニ依テ此害ヲ免カル、ヲ屢アリ温氣及ヒ寒氣ノ時トハ昆
 蟲ノ死スルヲ甚多ク大風ノ時ハ樹下ニ之ヲ吹落スニ因リ獸類ヲシ之

ヲ喰ハシムルニ便ナラシム

賣捌所

東京小石川大門町

青山清吉

定價六錢五厘

終